



今年も「笑顔」あふれる
良い年でありますように！

【長浜八幡宮】

■
広報

こぼろかい

新春
号

○発行／湖北会 広報室(法人本部)

○発行者／北野 憲一

○住所／滋賀県長浜市富田町431番地5

○発行日／平成28年1月20日

年頭のごあいさつ



あけましておめでとうございます。

平成28年(2016年)の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、当法人が実施します各事業の運営に対しまして、格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月より、共生社会の実現を目指し「障害者差別解消法」が施行され、しょうがい福祉を取り巻く環境は、大きく変化することになります。

このため、平成29年4月施行見込みの新たな社会福祉法に基づく法人体制づくりを、本年度中に行わなければなりません。

当法人におきましては、これらの対応はもちろんのこと、利用者の高齢化や多様化するニーズに応えるため、日々の支援を絶えず見直し、利用者の個性を大切にしたいと考えております。

具体的には、高齢のしょうがい者に対する支援のあり方について、検討委員会の設置。また、懸案事項となっております老朽化が著しい「湖北まこも」の改築についても、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

私たち湖北会は、役員・職員が一丸となって、その人の唯一絶対のかけがえのない人生を演出していただくため、必要な時に必要なサービスを提供できる。また、そのサービスがなければサービスを創造する。そのことを大切に、日々の支援を提供していく所存です。

ここに、旧年中のご厚情にあらためて深く感謝いたしますとともに、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

平成28年 正月
社会福祉法人 湖北会
理事長 北野 憲一
役職員一同

後援会長挨拶



新春の候、後援会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、湖北会后援会活動に格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今、湖北会では、築三十二年を経過した『湖北まこも』の建替え資金の確保が課題となっています。また、十数年後には『あそしあ』にも、同様の課題を抱えることとなります。入所施設は、生活を支援する大切な拠点であり、両施設ともなくすことはできません。無論、自助努力することは必要ですが、多額の自己資金を集めることは、容易なことではありません。できるだけ多くの方々にご入会いただき、支援の輪を広げていけるようご助力願えれば、幸いです。

また、私今年度、前役員の中で唯一の留任ということで、微力ながら会長の任を仰せつかったこと、遅ればせながらご報告を申し上げますとともに、重ねて本年も引き続き、多くの方々のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

後援会 会長 大塚 浩司

平成28年度 新規採用者 内定辞令交付式・交流会を実施

平成28年4月1日より、新しく湖北会職員の一員として、その活躍が期待される採用予定者の内定辞令交付式が、内定通知時期に合わせて、10月1日と12月25日の2回に分けて、行われました。両日とも、北野理事長から、直接内定者の皆さんに内定辞令書が手渡され、その後激励のお言葉があり、皆さん少し緊張気みの様子でした。それでも、引き続いて行われた交流会では、先輩職員や同期の皆さんとの間で和やかに、普段の学生生活のことやこれからの仕事に対する期待感などで大いに盛り上がり、交流を深められました。

いよいよ春には、新規採用者の皆さんは、各事業所に配属されて、利用者支援の期待の新戦力として、大いに法人の使命を担っていただくこととなります。どの事業所も大歓迎ですので、どうかよろしく願いいたします。



グループホームはまべ

— そば打ち名人の 技にくぎ付け! — 「そば打ち体験交流会」

11月22日(日) 南郷里公民館



湖北会のグループホームは9か所あります。毎年、交流行事として「日帰り旅行」を実施していますが、今年度は、「日帰り旅行(5月に実施)」に次ぐ第二弾として、「そば打ち体験交流会」を実施しました。

講師は、「長浜そば遊優くらぶ」の皆さんです。そば打ちの実演ショーでは、参加した利用者も職員も名人の技にくぎ付けになりました。パラパラのそば粉が名人の手のひらで、まるで生き物のように変化していきます。練り上がった生地が、見たこともない包丁の音とともに、細く綺麗に裁断されていきます。名人の技に魅了されて、みんなのやる気は、最高潮です。

10班に分かれての体験では「う～ん、なかなか手ごわいぞ!」「がんばれー!」「よっしゃー、できた!」など色んな声が飛び交い、悪戦苦闘しながらのそばの完成でした。

何といっても一番の楽しみは、自分たちが打ったそばを食べること。ゆで上がりが待ちきれません。おろし大根、ねぎ、きざみのりなどを好みに合わせて盛り付け、そばをすする音が「ずるずる・・・」と響きます。「うまい!」「☆☆☆3つ!」「きしめんみたいなのがあるぞ?」1時間半かけて作ったそばは、5分ほどでなくなり「もっとたくさん食べた〜い!」と悲鳴にも近い声を残して、そば打ち体験交流会は、終了しました。



名人のように上手くできなかったけれど、利用者が一生懸命挑戦してできたそばの味はもちろんですが、仲間と協力してできたそば体験の醍醐味を決して忘れないことでしょう。「長浜そば遊優くらぶ」の皆さん、貴重な体験をありがとうございました。

グループホーム「はまべ」 宮本 武彦



しょうがい者グループホーム「のぞみ」の整備が実現

しょうがい者の皆さんの自立生活の高まりとともに、地域で安心して暮らせる生活の場の確保をめざし、しょうがい者グループホームの段階的な整備促進については、法人の第2期将来構想（5カ年計画）にも、明確に位置付けています。

今回幸いにも、行政および関係者の格別のご支援により、土地の確保をはじめ、整備に伴う様々な条件をすべてクリアすることができ、米原市内では、5カ所目（同市内法人関係分では4カ所目）として、唯一施設がなかった米原地域でのしょうがい者グループホームの整備が叶うこととなりました。

10月6日には、関係者の皆様とともに工事における安全祈願祭を執り行い、平成28年3月22日の完成に向けて、いよいよ工事に着手することができました。

整備概要としましては、建物は男子専用棟とし、支援を必要とする重度型グループホーム3室に加え、法人の新しい試みとしてJR米原駅に近い利便性を活かした自立型グループホーム3室を2階に併設、合計6室を整備。さらに、1階部分に短期入所用途として、1室を確保する計画です。

なお、建物構造は、くつろぎ感を最優先とした木造2階建（一部平屋建）とし、全体延床面積は、275.90㎡となります。

新人職員振り返り研修を実施しました

10月21日新人職員振り返り研修を開催し、新人職員の皆さんとかがわれる機会を持つことができたことで、自分自身も新鮮な気持ちになることができました。

自分が就職した頃と比べると、割と研修の機会に恵まれているせいか、今年度の新人さんたちは、ことのほか団結力があり、2つのグループに分かれて、司会、進行、記録など率先して役割を分担され、みんなでボードに記入したりする姿もみられたり、緊張することなく活発な意見交換ができていて、同期職員の皆さんのパワーを感じるすることができました。



特に、利用者さんの対応の仕方など支援に対する悩みが多く、現場の中だけでは解決できていないケースもあるようでした。より専門的な学習の場が必要ではないかと思いました。

このように支援に関する素朴な疑問を持たれている新人職員さんとじっくりと向き合い、コミュニケーションを取ることが、日頃必要なのではと考えさせられた研修でした。

湖北まこも 川合のり子

湖北まこも

ゆったり班一泊旅行

11月12日、13日の両日ゆったり班の一泊旅行がありました。

1日目は、かかみがはら航空宇宙博物館見学です。そこには飛行機等が展示されており、間近で見る大きさに、皆さん驚いておられる姿が印象的でした。その後は、今日の宿泊地の下呂温泉へ向かいました。旅館では、温泉には1回だけでなく、2回・3回と入られる方もあり、肌をすべすべにしておられました。温泉の後は部屋で、ゆったりとした時間を過ごされました。宴会では、美味しい料理を食され、皆さん満面の笑顔になっておられました。また、カラオケを体験され、いつもとは違う雰囲気の中で、楽しそうに歌っておられる姿が印象に残っています。くつろいだ中での旅行は、日頃の疲れを十分癒していただけたのではないかと思います。

2日目は、郡上八幡の流響の里へ行きました。11月ということもあり、少し肌寒さを感じました。昼食後、昔の街並みの風景を散策される方、サンプル食品作りに参加される方、おみやげをみておられる方、各自で思い思いの自由な時間を過ごされ、楽しい思い出になったのではないかと思います。

帰りのバスの中でも、皆さん終始笑顔が見られ、思い出の楽しい旅行となりました。

湖北まこも 支援員 服部泰幸



～アクティブ班～旅行報告

今年のアクティブ班の一泊旅行は、丹後周辺と城崎温泉の旅となりました。

2日間とも良い天気に恵まれ、素敵な思い出ができました。

1日目の琴引浜鳴き砂文化館では、鳴き砂や貝殻を使ったキャンドル作りを体験され、それぞれ個性的な作品を仕上げられました。

宿泊は、外湯めぐりで有名な城崎温泉でした。各班に分かれて外湯めぐりを楽しまれたり、宴会では

美味しい料理を食べ、カラオケを歌われたりと、とてもリラックスされた様子でした。

2日目は、舞鶴方面へ向かい、日本三景のひとつ「天橋立」を訪れ、股のぞきしたり、観覧車に乗って美しい日本海を一望したりしました。

帰路には舞鶴の『とれとれセンター』へ寄り、お土産を買われたり、食事をして楽しまれていました。

2日間とも、皆さん元気に旅行を楽しむことができました。

湖北まこも 支援員 金森 猛裕



ライフまいばら

待望の新車両が納車

12月21日に、待ちに待った新しい車両が納車されました。

導入車両は、利用者の皆さんが乗降しやすいように電動格納式ステップ、大型の手すり、電動スライドドアを装備しております。また、安全運転のためのコーナセンサー、バックブザー、バックモニター等を装備しました。



やまぶき 食堂テラスの改修

「なんとということでしょう」



Before



After

この度、日頃のメンテナンス不足で腐食し、テラス上で活動を行うには、危険度の高かった食堂ほかテラスの改修を行いました。

実際、なかなか手入れが行き届かない事情もあり、今回、コンクリート施工とすることにしました。日当たり良好の場所でもあり、利用者の日向ぼっこ等、今後大いに活用していきます。

なお、一部残った建物側のウッドデッキおよびウッドデッキ柵については、自前でペンキ塗り等を行い、維持していきます。



いぶきやま 冬の準備

世界最深積雪(1182cm)を記録する伊吹山。その伊吹山の麓にある通所施設「いぶきやま」。いくら「今年は暖冬」と言われても、雪対策の準備は怠れないですね。

普段、豆腐の原材料の荷卸しに活躍しているフォークリフトさんも、冬期間はバケットを装着し、このように除雪車に早変わり。

今季の冬の備えも、万全といきたいところです。

あそしあ 造形活動と作品出展

あそしあでは、外部よりアートサポーターとして招聘した松本先生にアドバイスをいただきながら、造形活動を実施し、内外の展示会への出展にも積極的に参加しています。

最近では、県内外からの出展依頼も順調に増えてきており、利用者さんを作者という視点で捉えるようになりました。



利用者さんの真剣なまなざし・リラックスした様子・食事を気にしながらなど利用者さんの造形活動に関わる姿は、人それぞれですが、その作成風景や作品は、見る人を惹きつけ「すごいね。」などの言葉が自然に出てきます。その言葉に反応した利用者さんの笑顔も、実に素敵です。そんな造形活動を通じた関わりや感動、出展することによる外部評価を利用者さんに返すことによる自己肯定感と自身の人間形成に繋がる支援を、今後も大切にしていきたいです。

あそしあ 曾我



あそしあ夏祭り展の様子

■今年度の出展

展覧会	主催	出展数	開催日	場所
くらげ日和	Café&bar pueblo	3名	5/9	大津
あそしあ展	あそしあ	全員	8/29	あそしあ内
湖北のアール・ブリュット展	アート・イン・ナガハマ	6名	10/3~4	曳山博物館など
ワークショップイン余呉	芸術村in余呉	4名	10/20~21	余呉
ing展	NO-MA	1名	11/28~1/11	近江八幡
ARTSHIPAKASHI2015	明石市	1名	12/9~13	兵庫県明石市

今年も期待に応え

びわ湖環境ビジネスメッセ出店

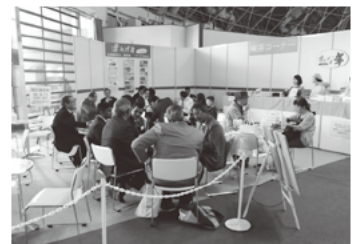
10月21日(水)・22日(木)・23日(金)の3日間、長浜ドームにて、出店しましたが、今回は、もう一店舗(計2店舗)の出店依頼があり、ワークスさぼてん・



ワークスさぼてん・やまぶき店舗

やまぶきの2事業所にも協力していただき、ワークスさかたで1店舗、ワークスさぼてん・やまぶき合同の1店舗と、法人始まって以来の合計2店舗が出店しました。

2ブースに分かれたことにより、結果としてお客様も分散してしまいましたが、いろいろお客様と対話できるよい機会となり、皆さん楽しく接客されていました。



ワークスさかた店舗

新顔登場 『新人職員紹介』



ゆるり
三澤 奈央

はじめまして。というかご無沙汰しています。

以前あそしあ・いぶきやまに勤務していた三澤奈央です。この度ご縁ありまして、再び湖北会でお世話になることとなりました。

小生何分にも至らぬ点多々ございますが、何卒、何卒皆さまご指導ご鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

●趣味 歌舞伎



湖北まこも
西堀亜希子

この度、「湖北まこも」にてお世話になることになりました。

一日も早く仕事に慣れ、しっかりと目配り気配りでき、利用者様に寄り添った支援ができるよう頑張ります。

●趣味：バレーボール

今は忙しくて休みがちですが、大きな声を張り上げて、仲間達とわいわい楽しく活動するのが大好きです。

ふくらの森初詣



新年の通所初日に、恒例の新年会及び初詣を行ないました。

午前中は、新年会として、職員による福笑いコンサートや書初め、そして大谷大学落語研究会から特別にお呼びした笑谷亭新茶さん（学生ボランティア）に古典落語を、一席披露していただきました。午後は、グループごとに初詣に出かけ、みんなで今年一年の無事とご多幸を祈願しました。

利用者の皆さんにとって笑顔の多い良い年となることを祈りつつ、またわれわれ支援する立場としてもさらに努力していきたいと思えます。



シリーズ おすすめスポット vol.5 「B-PASS 年輪」

長浜から対岸に見えます湖西地域高島。今回は高島市にあります『B-PASS 年輪』さんを紹介させていただきます。湖岸道路を北周りに進むと、湖西地域の湖岸には、有名な海津大崎の桜並木があります。これは有名なのですが、実は高島市今津町の湖岸には松の木がたくさん植えられています。背も高く、立派な木々が立ち並んでいます。きれいな花を咲かせる木ではありませんが、大きな木を眺めながらの散歩やドライブは心癒されます。



そして高島名物?!B-PASS 年輪さん。ここは本屋さんなのですが、クレープ屋さんもされています。種類も豊富で、値段もリーズナブル。そして年輪さんには、2つの大きな特徴があります。1つ目は、そのボリューム。値段と相反する大きさ、具たくさん、見てびっくり、食べてびっくりします。2つ目は、ドライブスルーがついていること。せっかくドライブに来たのに、すぐに帰らなければいけなくなっても大丈夫です。そんな時は、ドライブスルーをご利用されてはいかがでしょうか。

■B-PASS年輪 〒520-1636 滋賀県高島市今津町舟橋 2-1-17 TEL0740-22-4770

編集後記

今年の冬は、なんだかすごく暖かいですね。去年は、年明け早々に雪が降り、大変だったような・・・。

湖北地域では、記憶を辿れば昭和56年に豪雪があり、地域によっては2階までそのまま出入りするところもありました。

私も、中学校時代授業がほとんどなく、毎日雪どけをしていたことを懐かしく思い出します。

湖北会でも、年末に各事業所で雪対策が講じられていますが、ぜひその雪対策を使わないで、春を迎えられることを願っています。



編集委員：大岩 憲市